

東京外国語大学若手研究者
インターナショナル・トレーニング・プログラム
成果・研究計画報告会

研究テーマ:現代トルコにおける国家の正統性とイスラーム

日 時:2009年 4月16日(木)10:00-12:00

場 所:事務棟2階 中会議室

報告者:幸加木 文(博士後期課程)

1. 2008年度の派遣先概要

- ▶ 派 遣 先:
イスタンブル・ビルギ大学 欧州連合
研究所
- ▶ 受入研究者:
アイハン・カヤ教授
- ▶ 期 間:
2008年8月5日～2009年3月31日



2. 2008年度の研究概要および成果

◆ 問題視角：国家の「正統性」の揺らぎ？－「世俗主義」とイスラームを軸にした政教関係

1. 「世俗主義」概念に関連する議論：歴史的経緯および「世俗主義」概念解釈の分析・検討
2. 「イスラーム派」の思想・言説および動態の解明

2. 1 「世俗主義」概念に関するトルコ語文献調査

・目的：「世俗主義」概念に関し、トルコでこれまでどの程度の研究蓄積があるのかを把握、収集

⇒現状を反映した膨大な文献あり、多様な議論の基本となる文献の入手

⇒1970年代以降の議論の切り口や論点の把握

⇔文献を精査する必要あり

2. 2 「イスラーム派」の思想・言説および運動についての聞き取り調査

- ▶ 対象: イスラーム運動および関連団体の責任者、所属する人々等

- ・ ジェマート系団体および関係者
- ・ その他イスラーム系諸団体 など

⇒種々の文献、言説の行間を汲む感覚の涵養

⇔予想内の言説、論文引用には制限あり

- ▶ トルコ人研究者、知識人等との面談等

⇒トルコ人自身によるトルコ政治社会に対する思考への理解

2. 3 2008年度の研究成果の発表予定および今後の課題

- ▶ Leiden大学における国際ワークショップにおける研究発表

An International Consortium for African and Asian Studies
(CAAS) Symposium and Post-graduate Workshop

"Religion, Identity and Conflict"

@ Leiden University, the Netherlands,

26-28th August, 2009

- ▶ 学会、研究会等における口頭発表
- ▶ 論文、博士学位論文に向けて

3. 2009年度の派遣先概要

- | | |
|---|--|
| ▶ 派遣先1:
イスタンブール・ビルギ大学 欧州連
合研究所 | ▶ 派遣先2:
ロンドン大学東洋・アフリカ研究学
院(SOAS) |
| ▶ 受入研究者:
<i>Prof. Dr. Ayhan Kaya</i> | ▶ 受入研究者:
<i>Dr. George Dedes</i> |
| ▶ 期 間:
2009年5月1日～2009年11月
31日 | ▶ 期 間:
2009年12月1日～2010年2月
28日 |

4. 2009年度の研究計画

- ▶ トルコ・ビルギ大:
 - ・2009年5月～8月(4カ月)・・・資料収集およびLeiden WSに向けた研究発表準備
 - ・2009年9月～11月(3カ月)・・・資料収集および読解、意見交換
- ▶ 英国・SOAS:
 - ・2009年12月～2010年2月(3カ月)・・・英国の図書館およびトルコで収集した文献の整理・読解、意見交換
- 行動の指針:2008年度派遣時の経験を活かす方向で